

## 青少年体験活動奨励制度シンポジウム「活動と未来」(ジュニア版)

平成29年2月19日(日)、東京学芸大学にて、シンポジウムが開催されました。基調講演として、青少年体験活動奨励制度委員会の深谷昌志委員に『子どもの成長にとっての体験の意味を考える』と題してご講演をいただき、そのあと、今年度、本試行となったジュニア版の活動事例として、奈良教育大学附属中学校裏山クラブ、東京都町田市立第三中学校、鹿児島県大島郡天城町立北中学校、栃木県青年会館での取り組みの報告がありました。パネルディスカッションでは、短時間ながら、本制度の課題や、今後の継続について、会場からも意見を求めつつ進



められました。

シンポジウム終了後、本協会主催で、有志参加の交流会を開催し、体験プログラムを実施しているいくつかの企業からの資料展示もあり、青少年に向けた様々な活動をしている人たちの情報交換の場となりました。



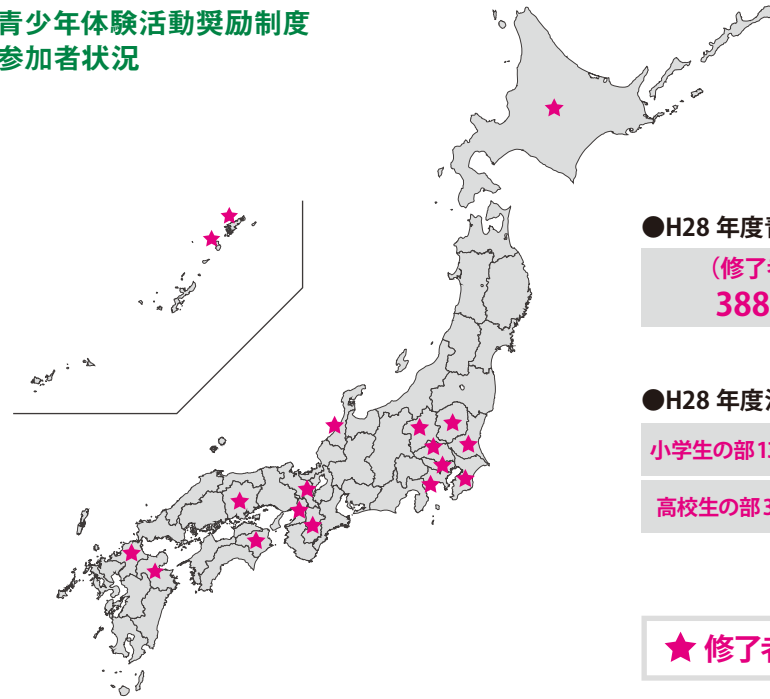
平成28年度 文部科学省委託事業「体験活動推進プロジェクト」  
青少年の体験活動の  
評価・顕彰制度に関する調査研究

平成28年度文部科学省委託事業  
「体験活動推進プロジェクト」  
青少年の体験活動の  
評価・顕彰制度に関する調査研究



CONTENTS	■ 青少年体験活動奨励制度表彰式	p1	■ EVENTS(シンポジウム報告)	p4
	■ AWARDS Perspective(制度の仕組み)	p2	■ 青少年体験活動奨励制度参加者状況	p4
	■ AWARDS Report(参加者の活動報告)	p3	■ ブランチ	p4

## ■ 青少年体験活動奨励制度参加者状況



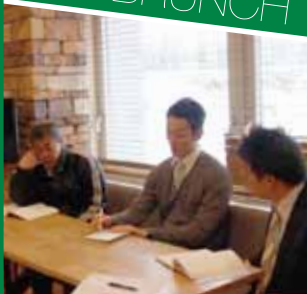
●H28 年度青少年参加者数  
(修了者数/参加者数)  
**388名/501名**

### ●H28 年度活動修了者数の内訳

小学生の部 138名	中学生の部 164名
高校生の部 37名	大学生の部 49名

★ 修了者 **388名**

## BRUNCH



### 北海道ランチ 【札幌大学】

住所：北海道札幌市豊平区西岡三条7丁目3番1号  
電話：011-852-9138

### 関西ランチ 【奈良教育大学】

住所：奈良県奈良市高畑町  
電話：0742-27-9108

### 東日本ランチ

【一般社団法人教育支援人材認証会本部事務局】

住所：東京都小金井市貫井北町4-1-1(東京学芸大学内)  
電話：042-329-7605

### 中国・四国ランチ

【中国学園大学 中国学園エクステンションセンター】

住所：岡山県岡山市北区庭瀬83番地  
電話：086-293-2508



青少年体験活動奨励制度 HP ▶▶▶ <http://www.u-gakugei.ac.jp/~codomo/jya/index.html>  
Facebook ▶▶▶ <https://www.facebook.com/seisyonen>



教育支援人材認証協会  
Japan Association for Certifying and Training Educational Specialists

発行：一般社団法人教育支援人材認証協会  
発行日：平成29年3月  
連絡先：東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学内  
(TEL) 042-329-7605 (Email) info@jactes.or.jp  
協会 HP： <http://www.jactes.or.jp>

## 青少年体験活動奨励制度表彰式

平成29年3月13日(月)に平成28年度青少年体験活動奨励制度修了者の表彰式を文部科学省旧文部省庁舎6階講堂で開催しました。今年度は、昨年度までの14歳から24歳までの青少年に加え、小学4・5・6年生・中学生対象のジュニア版の本試行ということで、表彰式には、活動達成者(小学生23名、中学生15名、高校生10名、大学生14名)、保護者、引率者、アドバイザーの方等、総勢122名の方たちにご参加いただきました。式典では、神山修文部科学省大臣官房審議官より、小・中・高・大学各部門の代表者への授与があり、そのあと、青少年体験活動奨励制度委員会小森伸一委員長のご挨拶、各部門の参加者より活動報告、そして、アドバイザーの代表者からの活動報告をおこないました。そして、青少年体験活動奨励制度委員会深谷昌志委員の挨拶にて式典終了後、引き続き、小森伸一委員長より、達成者ひとりひとりへ修了証が授与され、会場はとても晴れやかな笑顔にあふれました。

また、今年度初めてアドバイザーの方々の紹介と、当日参加された10名へ感謝状の授与をおこないました。最後に、青少年体験活動奨励制度委員会欽矢悦朗副委員長の挨拶で終了となりましたが、その後も保護者や友人た記念撮影をおこなう姿があり、感謝状を手にされたアドバイザーの方々からは、大変嬉しかったという声を聞くことができました。(各門の参加者の活動報告は、3ページでご紹介しています)



神山修文部科学省大臣官房審議官より代表者への修了証授与(小学生の部)



修了証授与(中学生の部)



修了証授与(高校生の部)



修了証授与(大学生の部)



修了書と共に記念撮影

今年度修了者数  
**388人**  
参加者数  
**501人**



### 制度のご紹介

青少年体験活動奨励制度は、平成25年度から文部科学省の委託事業として試行している制度です。

平成25年度、26年度、27年度は、14歳から24歳の青少年を主な対象に、試行を重ねていました。平成27年度からは、小学4年生～6年生と中学生を対象としたジュニア版の試行を始め、本年度は、このジュニア版を中心に試行をしました。

14歳から24歳の高校生・大学生版は、「運動体験」「教養

体験」「ボランティア体験」「自然体験」という4つの領域の体験活動について、総合的に一定期間継続することで、その達成をもって修了となります。そして、小中学生のジュニア版は、必須の「ボランティア体験」「自然体験」2つと、「運動体験」「教養体験」のいずれかを1つ選択し、3つの領域の体験活動を一定期間継続することで、その達成をもって修了となり、それぞれ達成者には、修了証が文部科学省から授与されます。

#### 活動概要（ジュニア版）



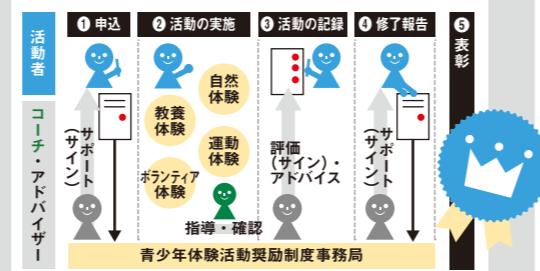
#### 活動概要（高校生・大学生版）

青少年が自ら計画を立て、アドバイザーと相談しながら継続的に体験活動を行う制度です。

##### 活動のポイント

- ①自分で目標と計画を立て、自主的に活動すること
- ②アドバイザー（＝活動をサポート、アドバイスの大人）に相談しながら活動を行うこと  
※申請時の提出物、活動中の記録にはアドバイザーのサインが必須です
- ③各領域の活動はコーチ（＝活動を確認・指導する大人）に確認してもらいながら行うこと
- ④運動体験・ボランティア体験・教養体験の領域は、継続的に活動すること
- ⑤活動を記録しながら実施すること

##### 活動の流れ



#### 4領域の詳細

自然体験	運動体験	教養体験	ボランティア体験
<p><b>【概要】</b> 普段の生活とは異なる自然豊かな場所で、宿泊を伴って自然と楽しく触れ合ったり、自然を探索したりすることを目的とする活動</p> <p><b>【必要時間】</b> 1泊2日以上 (1日6時間以上の活動) ※事前の企画や準備、練習をきちんと行う必要があります</p> <p><b>【活動例】</b> 野外活動、自然・環境学習活動、農業・漁業体験等</p>	<p><b>【概要】</b> スポーツやトレーニング等、心肺的・肉体的負荷があり、健康促進、運動機能向上を目的とする活動</p> <p><b>【必要時間】</b> 1週間に1時間以上の頻度で3ヶ月～6ヶ月間継続</p> <p><b>【活動例】</b> ・マラソン大会完走を目指すランニング ・脂肪燃焼を目指すウォーキング等</p>	<p><b>【概要】</b> 知識や技能を高める活動や、教養や趣味を深める活動等、自己研鑽を目的とする活動</p> <p><b>【必要時間】</b> 1週間に1時間以上の頻度で3ヶ月～6ヶ月間継続</p> <p><b>【活動例】</b> 資格取得、検定受験、音楽活動、日本文化の会得、技術向上等</p>	<p><b>【概要】</b> 他者への奉仕やサポートを目的とする活動</p> <p><b>【必要時間】</b> 1週間に1時間以上の頻度で3ヶ月～6ヶ月間継続</p> <p><b>【活動例】</b> 教育支援、地域支援、高齢者支援、子育て支援等</p>

※運動、教養、ボランティアの3領域中2領域は3ヶ月間、1領域は6ヶ月間以上の活動が必要になります。

## AWARDS Report

参加者の方から、

- 活動内容
- 活動を通じて感じたことを表彰式で発表していただきました。



#### 小学生の部

武蔵野学園武蔵野東小学校

5年  
清水 萌音さん

ボランティア体験では、はけなくなった靴をアフリカへ送る「スマイルアフリカプロジェクト」、自然体験では自然観察会へ行き、学習体験では、漢字検定の受験とバイオリンを行いました。

体験活動を通して私は自分の学習を計画的に行い、目的意識を持つことができた、そして、ボランティア体験により私の小さな活動でも世界の人を笑顔にできることを学びました。



#### 中学生の部

東京都杉並区立杉森中学校

2年  
和田 侑奈さん

ボランティア体験は、家の前の掃除と路上駐輪の自転車の移動、自然体験は、善福寺川緑地の散策を、運動体験では空手を行いました。ボランティアは、初めは恥ずかしかったけれど、体験活動をするうちにボランティアに抵抗がなくなり、今でもたまたま、近くにある神社の境内を友だちと掃除しています。

皆が助け合えば、綺麗で住みやすい地域になると思うので、これからも色々なかたちで続けたいです。



#### 高校生の部

福岡県立三潁高等学校

2年  
重松 桃佳さん

ボランティア体験は、グラウンド周辺のゴミ拾い、運動体験は、体力づくりでベンチプレス、学習体験は、漢字検定習得取得のための勉強、和太鼓、ベース・ドラムを行いました。自然体験では、自然の中で日常とは違った活動を行うことで、新しい発見や経験を今後の人生に活かすことを目的として、八女市星野村に宿泊し、森林整備や星の観察を行いました。森林整備は、地元のNPOの方に指導を受け、薪割り、木の伐採までを体験しました。また、みんなで夕食作りもしました。体験活動を通して、コミュニケーション能力がついたこと、協力する大切さ、結束力が強まったこと、他人への配慮を常に忘れないことを学びました。

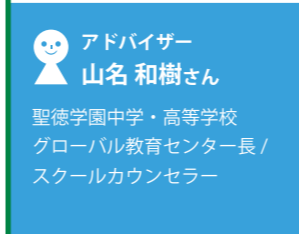


#### 大学生の部

大分県 日本文理大学

2年  
多賀 絵理さん

運動体験は、健康な体力作りのため減量と筋力トレーニング、教養体験は、就職活動に向けたSPI対策、ボランティア体験は、商店街活性化に向けたクリスマスイベントの企画運営をし、総勢150名がサンタクロースの衣装を着てパレードしました。自然体験は、大分川の源流を探す旅に女子学生4人で取り組みました。私は、この活動を通して、自分の「出来た事」や「課題」自分の「強み」「弱み」を発見することが出来ました。4月からは大学3年生となり、就職活動を始めていく年です。今回見つけた課題は、残りの大学生活で改善していき、自分の強みは、就職活動など今後の人生に活かしていきたいです。



アドバイザー  
山名 和樹さん

聖徳学園中学・高等学校  
グローバル教育センター長 /  
スクールカウンセラー

ジュニア版の体験活動として、中学生のアドバイザーを務めました。青少年の体験活動は、制度が複雑で、普段の活動だけでは資格が取れず、また、教員だけでは説明ができないので、協会担当者に来校してもらい、説明を受けました。そして、他の先生方にもサポートをしていただきました。次年度に向けては、多様なボランティアや野外活動の紹介、協会との連携、活動の意義の周知徹底をしていくということが課題としてあげられると思います。



### 青少年体験活動奨励制度委員会 小森伸一委員長より

活動達成者の皆さんおめでとうございませう。そして、体験活動を支えてくださったアドバイザーの皆様、引率者の皆様にお礼を申し上げます。

体験活動を終えた方へひとことお話をさせていただけます。ここにリンゴがありますが、リンゴを食べたことのない人にリンゴを説明するには、言葉で説明するよりも実際に食べてもらうことです。今、情報が進んでいますが、インターネットや知識だけではなく、皆さんも実際に体を使って、心を動かして、本物に触れ

て、自分で体験することで、より深く知ることが出来ます。また、リンゴのタネは小さいけれど、タネの中に大きなリンゴの木になる成長が秘められています。でも、タネから成長するには、陽を浴びて、嵐にも耐えなければなりません。皆さんもリンゴのように、大きく成長する可能性を秘めている存在です。それぞれに、大きくたくさんの実をなして欲しいと思っています。そのためには、これからも体験へのチャレンジを続けて欲しいと思います。

皆様の活動をご報告ください

今後も全国の参加者の皆様の活動をご紹介します。皆様からの活動レポートを事務局までお送りください。

- 制度に参加して良かったこと、自分の活動に活かされたこと
- 現在の活動内容/○今後の抱負

⇒FAX:042-329-7605  
⇒Email:info@jactes.or.jp